

協働のまちづくり協議会（第4回）議事概要

- 《日 時》 平成30年7月20日（金） 14時～16時50分
《場 所》 松戸市役所 議会棟2階 第3委員会室
《委 員》 犬塚 裕雅 会長、長江 曜子 委員、文入 加代子 委員、牧野 昌子 委員、
杉浦 利彦 委員、江藤 政継 委員、野村 圭子 委員、門 良英 委員
《傍聴者》 0名（非公開）

1 開会

※欠席者報告・委員会定数確認、配布資料確認、諮問読み上げ

2 協働のまちづくり協議会 会長挨拶

3 議 題

（1）平成31年度実施分協働事業 第一次選考について

① 公共サイン改善事業

協働事業として選定すべきであるとした。

《付帯意見》

ワークショップの外部アドバイザーを具体的に設定し、明示してほしい。アドバイザーは、求める成果を獲得し得るだけの専門性のある人物を確保してほしい。

担当課として、この事業で得た成果を、今後どのように活かしていくかという道筋を明示してほしい。

《意見交換》

- ・もう少し事業にスピード感が欲しい。
- ・そろそろ具体的な公共サインのたたき台の提示があってもよいのではないか。
- ・担当課としてどれだけの熱意があるのか知りたい。
- ・ワークショップのアドバイザー謝礼が、1人分3時間で1万5千円と安く感じるが、目的とする成果をあげられるだけのアドバイザーなのか。

② 災害時要配慮者支援事業

協働事業として選定すべきであるとした。

《付帯意見》

要配慮者の家族の気持ちを配慮したうえでの個人情報の取り扱いをしてほしい。そのために、個人情報取り扱いに関する規定等を策定してはどうか。

《意見交換》

- ・高齢者支援課や障害福祉課との連携という話が事業計画に出てきているが、二次審査では担当課としてあがってくる可能性はあるのだろうか。

- ③ 人材発掘プロジェクト アーティストバンク事業
協働事業として選定すべきであるとした。

《付帯意見》

アーティストバンクの設立について、登録する際の基準や工程を明確に設計して提示してほしい。

大学への協力依頼の内容を具体的に提示してほしい。

《意見交換》

- ・1公演行うにも謝礼がかなりかかると思うので、経済的な面をもう少し詳しく提示してほしい。

- ④ 子どもたちがつくる青少年会館居場所事業
協働事業として選定すべきであるとした。

《付帯意見》

担い手育成プログラムについて、協働事業提案制度における本事業を終了した後も継続していけるよう、プログラムの内容を精査して作り上げてほしい。

担当課は、事業を通じて得た知見を事業に反映するような道筋を明示してほしい。

《意見交換》

- ・担い手育成プログラムが、どういうプログラムなら人が集まり、定着するかというところにもっと力を入れてほしい。
- ・事業で得た成果をきちんと担当課のノウハウとして活かしてほしい。

- (2) その他

事務局から、平成31年度実施分市民活動助成制度の募集要項及び平成30年7月15日発行の広報まつど市民活動特集号について説明した。

4 閉会